

病害虫発生予察情報 第3号

富山県農林水産総合技術センター所長

6月の病害虫発生予報

【予報の概要】

作物名	病害虫名	発生量	発生時期	作物名	病害虫名	発生量	発生時期
水稲	いもち病（葉いもち）	並	並	果樹	果樹のカメムシ類	並	—
	紋枯病	やや少ない	並～やや早い		リンゴの褐斑病	やや多い	—
	斑点米カメムシ類				リンゴの輪紋病	並	やや早い
	アカヒゲホソミドリカスミカメ	やや少ない	—		リンゴのハダニ類	並	やや早い
	アカスジカスミカメ	並	—		リンゴのキンモンホソガ	少ない	—
	トゲシラホシカメムシ	並	—		リンゴのカイガラムシ類	やや多い	やや早い
	ニカメイガ	並（局部多い）	並		ニホンナシの黒星病	多い	—
	イネミズゾウムシ	並	—		ニホンナシの輪紋病	並	やや早い
	イネドロオイムシ	並	—		ニホンナシのナシヒメシクイ	やや多い	—
	ツマグロヨコバイ	並	—		ニホンナシのハマキムシ類	並	—
大豆	茎疫病	並	並	ニホンナシのカイガラムシ類	やや多い	やや早い	
	タネバエ	並	並	ニホンナシのハダニ類	少ない	やや早い	
	ネキリムシ類	少ない	—	ブドウの灰色かび病	並	—	
野菜	タバコガ類	やや多い	並	ブドウのべと病	やや多い	—	
	ネキリムシ類	少ない	—	カキ（三社）のフジコナカイガラムシ	やや多い	—	
	白ねぎのさび病	少ない	並	モモのせん孔細菌病	やや多い	—	
	白ねぎのネギアザミウマ	やや少ない	—	花き 球根	チューリップの球根腐敗病	やや多い	—
	白ねぎのネギハモグリバエ	多い	並		チューリップのアブラムシ類	並	—
			タバコガ類		やや多い	並	

富山県農林水産総合技術センター

農業研究所 病理昆虫課

TEL 076-429-2111

FAX 076-429-7974

情報参考 URL <https://taffrc.pref.toyama.jp/nsgc/nougyou/>

I 水 稻

1 いもち病（葉いもち）

(1) 予報内容 発生量：並
発生時期：並

(2) 予報の根拠

- ・6月の降水量は平年並か多いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・放置されている補植苗は、速やかに抜き取り処分する。
- ・平年の初発日は7月10日であるが、気象条件によっては6月中旬に確認されることがあるので、BLASTAM情報（農業研究所ホームページ）をもとに、ほ場観察を励行し、早期発見・早期防除に努める。
- ・防除指針 29～30 ページ参照

2 紋枯病

(1) 予報内容 発生量：やや少ない
発生時期：並～やや早い

(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・前年9月5日調査では発病株率が4.6%で平年（9.4%）よりやや少なかった。

【早発要因】

- ・6月の気温は平年並か高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・平年の初発確認日は6月23日であるので、ほ場の観察に努める。
- ・防除指針 28～29 ページ参照

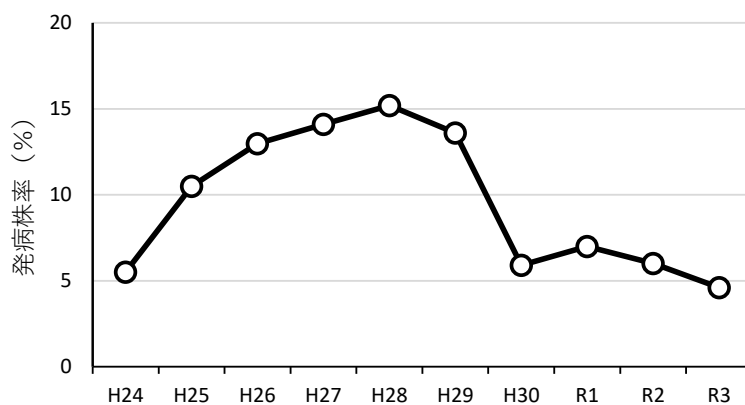


図1 紋枯病発病株率の年次推移（9月5日調査）

3 斑点米カメムシ類（アカヒゲホソミドリカスミカメ）

(1) 予報内容 発生量：やや少ない

(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・ 5月20日調査の畦畔・雑草地のすくい取り20回虫数は0.2頭で平年（1.5頭）より少なかった。確認地点率も15.6%で平年（32.7%）より低かった。

【多発要因】

- ・ 6月の気温は平年並か高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 畦畔等のイネ科雑草の穂が出ないように草刈りに努める。
- ・ 防除指針 41～43ページ参照

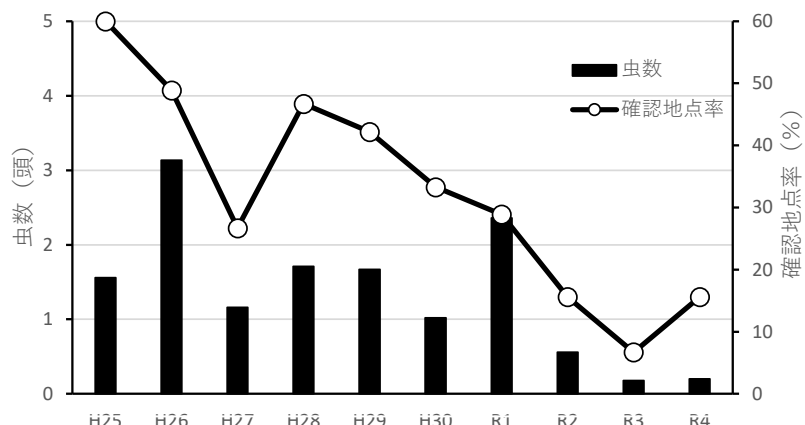


図2 アカヒゲホソミドリカスミカメの畦畔・雑草地すくい取り状況年次推移（5月20日調査）

4 斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ）

(1) 予報内容 発生量：並

(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・ 5月20日調査の畦畔・雑草地のすくい取り20回虫数は0.7頭で平年（1.5頭）より少なかった。確認地点率は20.0%で平年（27.1%）よりやや低かった。

【多発要因】

- ・ 6月の気温は平年並か高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 畦畔等のイネ科雑草の穂が出ないように草刈りに努める。
- ・ 防除指針 41～43ページ参照

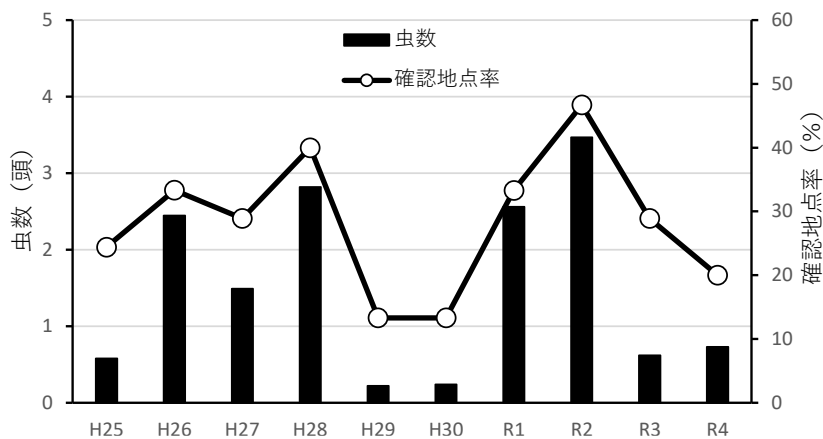


図3 アカスジカスミカメの畦畔・雑草地すくい取り状況年次推移（5月20日調査）

7 イネミズゾウムシ

- (1) 予報内容 発生量：並
- (2) 予報の根拠
 - ・前年6月5日（被害盛期）の調査では、被害葉率が1.1%で平年（1.1%）並であった。
- (3) 防除対策
 - ・防除指針 35 ページ参照

8 イネドロオウムシ

- (1) 予報内容 発生量：並
- (2) 予報の根拠
 - ・前年6月20日（被害盛期）の調査では被害葉率が0%で平年（0.0%）並であった。
- (3) 防除対策
 - ・防除指針 36 ページ参照

9 ツマグロヨコバイ

- (1) 予報内容 発生量：並
- (2) 予報の根拠
 - ・越冬後調査のすくい取り20回虫数は0.1頭で平年（0.2頭）並であった。
- (3) 防除対策
 - ・防除指針 38ページ参照

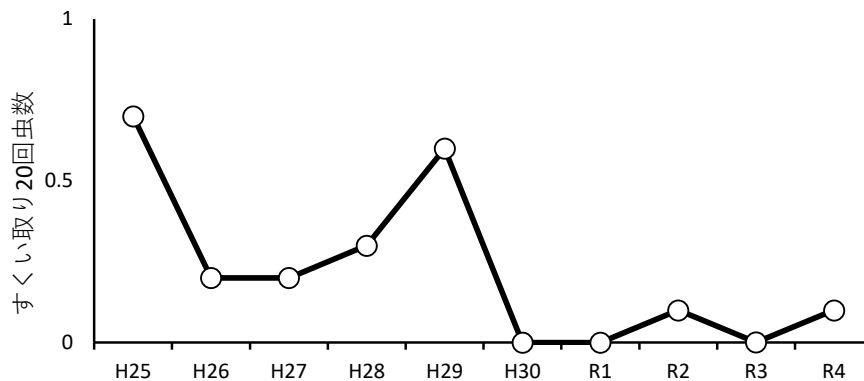


図6 ツマグロヨコバイのすくい取り状況年次推移（越冬後調査）

II 大豆

1 茎疫病

- (1) 予報内容 発生量：並
発生時期：並
- (2) 予報の根拠
 - 【多発要因】
 - ・6月の降水量は平年並か多いと予想されている。
 - 【少発要因】
 - ・薬剤の種子処理が普及している。

2 ネキリムシ類（タマナヤガ、カブラヤガ）

- (1) 予報内容 発生量：少ない
(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・フェロモントラップによる5月1～5半旬までの誘殺数は、タマナヤガが14.0頭で平年(26.1頭)より少なく、カブラヤガも27.7頭で平年(105.9頭)より少なかった。

- (3) 防除対策
- ・防除指針 69～133 ページのネキリムシ類の項参照
 - ・末尾に参考資料

3 白ねぎのさび病

- (1) 予報内容 発生量：少ない
発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・5月25日の調査では被害株率が0%で平年(2.9%)より少なかった。

- (3) 防除対策
- ・防除指針 98 ページ参照

4 白ねぎのネギアザミウマ

- (1) 予報内容 発生量：やや少ない
(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・5月25日の調査では被害株率が4.8%で平年(13.9%)より低かった。

【多発余韻】

- ・6月の気温は平年並か高いと予想されている。

- (3) 防除対策
- ・防除指針 100～101 ページ参照

5 白ねぎのネギハモグリバエ

- (1) 予報内容 発生量：多い
発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・5月25日の調査では、被害株率が9.6%で平年(4.3%)より高かった。

- (3) 防除対策
- ・防除指針 100 ページ参照

IV 果 樹

1 果樹のカメムシ類

- (1) 予報内容 発 生 量：並
- (2) 予報の根拠
 - ・フェロモントラップによる4月4半旬～5月3半旬のチャバネアオカメムシの誘殺数は1.6頭で、平年(3.0頭)並であった。
- (3) 防除対策
 - ・発生状況に注意し、園地への飛来が見られる場合は効果の高い薬剤(ネオニコチノイド系殺虫剤)等を散布する。
 - ・防除指針：リンゴ140、145～146、148～149ページ、ニホンナシ151、156、159～160ページ、カキ167、171ページ、モモ173～174、176ページ参照

2 リンゴの褐斑病

- (1) 予報内容 発 生 量：**やや多い**
- (2) 予報の根拠
 - 【多発要因】
 - ・前年の発生量は平年並～多かった。
 - ・6月の降水量は平年並か多いと予想されている。
- (3) 防除対策
 - ・前年、発生が多かった園地や発生が懸念される園地では、薬剤の散布量を十分に確保する。
 - ・薬剤の散布間隔が開き過ぎないように10日間隔での防除を徹底する。
 - ・主枝や垂主枝から発生している新梢を整理するとともに、枝つりや主枝入れを行い薬剤の到達性を高める。
 - ・防除指針：140、142～143、147～148ページ参照

3 リンゴの輪紋病

- (1) 予報内容 発 生 量：並
発生時期：**やや早い**
- (2) 予報の根拠
 - ・前年の発生量は少なかったが、6月の降水量は平年並か多いと予想されている。
 - 【早発要因】
 - ・6月の気温は平年並か高いと予想されている。
- (3) 防除対策
 - ・梅雨期間中は重要防除時期なので、薬剤の散布間隔が開きすぎないように注意する。
 - ・防除指針：140、143、147～148ページ参照

4 リンゴのハダニ類

- (1) 予報内容 発生量：並
発生時期：やや早い

- (2) 予報の根拠
・前年の発生量は平年並であった。

【早発要因】

- ・6月の気温は平年並か高いと予想されている。

- (3) 防除対策
・殺ダニ剤の散布前には草刈りを行い、ハダニ類が樹上へ移動した後に散布する。
・ハダニ類は高温・乾燥が続くと急増するので、発生状況に注意し、発生が認められた場合は早めに防除する。
・防除指針：140、144、146～147 ページ参照

5 リンゴのキンモンホソガ

- (1) 予報内容 発生量：少ない
(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・フェロモントラップによる4月4半旬～5月3半旬のキンモンホソガの誘殺数は0頭であった。

- (3) 防除対策
・6月上旬（第1世代成虫発生盛期）は重要防除時期なので、適期防除に努める。
・防除指針：140、144～146、148～149 ページ参照

6 リンゴのカイガラムシ類（ナシマルカイガラムシ）

- (1) 予報内容 発生量：やや多い
発生時期：やや早い

- (2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・前年の発生量は平年並であったが、一部園地では発生量が多かった。

【早発要因】

- ・6月の気温は平年並か高いと予想されている。

- (3) 防除対策
・前年、発生が多かった園地では、アプロードフロアブル1,000～1,500倍を散布する。
・防除指針：140、145～146、148～149ページ参照

7 ニホンナシの黒星病

- (1) 予報内容 発生量：多い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ 現在までの発生量が多かった。
- ・ 6月の降水量は平年並か多いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ り病した果実や葉は、見つけ次第除去し、園地外に持ち出して処分する。
- ・ 薬剤の散布間隔が開き過ぎないように注意し、降雨前防除を実施する。
- ・ 防除指針：151、153～155、158 ページ参照

8 ニホンナシの輪紋病

- (1) 予報内容 発生量：並
 発生時期：やや早い

(2) 予報の根拠

- ・ 前年の発生量は少なかったが、6月の降水量は平年並か多いと予想されている。

【早発要因】

- ・ 6月の気温は平年並か高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 梅雨期間中は重要防除時期なので、薬剤の散布間隔が開きすぎないように注意する。
- ・ 防除指針：151～155、158 ページ参照

9 ニホンナシのナシヒメシンクイ

- (1) 予報内容 発生量：やや多い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ フェロモントラップによる4月4半旬～5月3半旬のナシヒメシンクイの誘殺数は17.3頭で、平年（11.8頭）よりやや多かった。

(3) 防除対策

- ・ 6月上中旬（第1世代成虫発生盛期）は重要防除時期なので、適期防除に努める。
- ・ 防除指針：151、155～156、159～160ページ参照

10 ニホンナシのハマキムシ類

- (1) 予報内容 発生量：並

(2) 予報の根拠

- ・ フェロモントラップによる4月4半旬～5月3半旬の誘殺数は1.5頭で、平年（1.3頭）並であった。

(3) 防除対策

- ・ 成虫発生盛期（平年では5月4～5半旬頃）の7～10日後に防除を実施する。

・防除指針：151、155～156、159～160 ページ参照

1 1 ニホンナシのカイガラムシ類

(1) 予報内容 発生量：やや多い

発生時期：やや早い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

・前年の発生量はやや多かった。

【早発要因】

・6月の気温は平年並か高いと予想されている。

(3) 防除対策

・前年、発生が多かった園地では、アプロードフロアブル1,000倍を散布する。

・防除指針：151、155～156、159～160 ページ参照

1 2 ニホンナシのハダニ類

(1) 予報内容 発生量：少ない

発生時期：やや早い

(2) 予報の根拠

・前年の発生量は少なかった。

【早発要因】

・6月の気温は平年並か高いと予想されている。

(3) 防除対策

・殺ダニ剤の散布前には草刈りを行い、ハダニ類が樹上へ移動した後に散布する。

・ハダニ類は高温・乾燥が続くと急増するので、発生状況に注意し、発生が認められた場合は早めに防除する。

・防除指針：151、157、159～160ページ参照

1 3 ブドウの灰色かび病

(1) 予報内容 発生量：並

(2) 予報の根拠

・前年の発生量は少なかったが、6月の降水量は平年並か多いと予想されている。

(3) 防除対策

・り病した花穂や果房、葉などは見つけ次第除去し、園外に持ち出して処分する。

・袋かけ前に果房に花かすが残らないように取り除く。

・落花後は重要防除時期なので、薬剤の散布間隔が開きすぎないように注意する。

・防除指針：162～164ページ参照

14 ブドウのべと病

(1) 予報内容 発生量：やや多い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

・6月の降水量は平年並か多いと予想されている。

(3) 防除対策

・り病した花穂や葉などは見つけ次第除去し、園外に持ち出して処分する。

・防除指針：162～165ページ参照

15 カキ（三社）のフジコナカイガラムシ

(1) 予報内容 発生量：やや多い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

・フェロモントラップによる5月2半旬～5月3半旬の誘殺数は108.5頭で、平年（33.3頭）よりやや多かった。

(3) 防除対策

・6月下旬～7月上旬（第1世代ふ化幼虫発生期）は重要防除時期なので、適期防除に努める。

・防除指針：167～168、170～171ページ参照

16 モモのせん孔細菌病

(1) 予報内容 発生量：やや多い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

・6月の降水量は平年並か多いと予想されている。

(3) 防除対策

・果実への感染被害を防ぐため、6月中旬までに袋掛けを完了する。

・発生が多い園地では、袋掛け終了後、速やかにICボルドー412（50倍）を散布する。ただし、薬害防止のため、散布後2～3日程度降雨が予想されない時期を見計らって散布する。

・防除指針：173、176ページ参照

V 花き・球根

1 チューリップの球根腐敗病

(1) 予報内容 発生量：やや多い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ 6月の気温は平年並か高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 発病株の抜き取りを徹底する。
- ・ 適期の掘り取りに努める。
- ・ 掘り取り後は速やかに水洗・乾燥する。
- ・ 防除指針：190 ページ参照

2 チューリップのアブラムシ類

(1) 予報内容 発生量：並

(2) 予報の根拠

- ・ チューリップ予察ほ場において5月中旬以降の有翅虫飛来数が平年よりも少ないが、6月の気温は平年並か高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 生育後半まで定期的に薬剤を散布する。
- ・ 防除指針：190、209～210 ページ参照

3 タバコガ類（タバコガ、オオタバコガ）

(1) 予報内容 発生量：やや多い
発生時期：並

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ フェロモントラップによる5月3～5半旬の誘殺数は、タバコガが2.7頭で平年（0.6頭）よりやや多く、オオタバコガも2.3頭で平年（1.8頭）よりやや多かった。

(3) 防除対策

- ・ 防除指針 198、205、210、214 ページ参照

令和4年度農薬危害防止運動の実施について

- 全国運動のテーマ：「農薬は 周りに配慮し 正しく使用」
- 富山県の運動期間：農薬の繁用期である「6月15日～9月14日」

北陸地方 3か月予報

(予報期間 6月から8月)

5月24日

新潟地方气象台 発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率が50%です。降水量は、平年並の確率が40%です。

6月 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

7月 期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、平年並または多い確率ともに40%です。

8月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温、降水量の各階級の確率 (%)						
気温	北陸地方	06月~08月	<table border="1"><tr><td>20</td><td>30</td><td>50</td></tr></table>	20	30	50
		20	30	50		
		06月	<table border="1"><tr><td>20</td><td>40</td><td>40</td></tr></table>	20	40	40
		20	40	40		
07月	<table border="1"><tr><td>20</td><td>40</td><td>40</td></tr></table>	20	40	40		
20	40	40				
08月	<table border="1"><tr><td>20</td><td>40</td><td>40</td></tr></table>	20	40	40		
20	40	40				
降水量	北陸地方	06月~08月	<table border="1"><tr><td>30</td><td>40</td><td>30</td></tr></table>	30	40	30
		30	40	30		
		06月	<table border="1"><tr><td>20</td><td>40</td><td>40</td></tr></table>	20	40	40
		20	40	40		
07月	<table border="1"><tr><td>40</td><td>30</td><td>30</td></tr></table>	40	30	30		
40	30	30				
08月	<table border="1"><tr><td>30</td><td>40</td><td>30</td></tr></table>	30	40	30		
30	40	30				